

## ◇基盤地図情報の項目追加と最新提供・整備状況

### ①「街区の境界線及び代表点」の項目を追加

5月1日から基盤地図情報の提供項目（街区の境界線及び代表点）の追加を開始します。

国土地理院では、平成19年度から基盤地図情報の整備に取り組んでおり、縮尺レベル25000については平成19年度中に整備を終え、縮尺レベル2500については平成23年度までに都市計画区域内を整備することを目指しています。これまで、縮尺レベル2500については測量の基準点、行政区画の境界線及び代表点、道路縁、軌道の中心線、標高点、海岸線、水涯線、建築物の外周線、市町村の町若しくは字の境界線及び代表点を提供していましたが、このたび、一部の地域について「街区の境界線及び代表点」データを追加し、5月1日から提供を開始しました。

なお、今回提供する地域は、全国の住居表示実施地区で基盤地図情報を整備している地域の一部です。

### ②北陸地方測量部管内の提供・整備状況（平成22年7月1日時点）



全国の提供・整備状況は以下の URL を参照下さい。  
[http://www.gsi.go.jp/kiban/teikyoku\\_area.html](http://www.gsi.go.jp/kiban/teikyoku_area.html)

## ◇「測量の日」関連行事を全国各地で実施

### ① CiC パネル展

国土交通省では、全国各地で測量・地図の意義及び重要性に対する国民の理解と関心を一層高めることを目的に、関係省庁、公共団体及び関係団体等の協力を得て、6月3日「測量の日」を中心に、各種記念行事を開催しました。

北陸地方測量部では、平成22年6月2日(水)～6日(日)の5日間に渡り、富山ステーションフロント CiC 1階アトリウムにおいて「測量の日」パネル展を開催しました。

展示パネルは、「地図と写真で見る富山市街100年のあゆみ」と題し、100年前に参謀本部陸地測量部が作成した地形図から現代の電子国土基本図までと、昭和20年富山大空襲前の米軍撮影の空中写真から平成19年撮影の空中写真までを時系列で展示しました。

#### ○地図で見る富山の移り変わり

- ・明治43（1910）年測図 2.5万分1地形図「富山」
- ・昭和43（1968）年改測 2.5万分1地形図「富山」
- ・昭和58（1983）年第二回改測 2.5万分1地形図「富山」
- ・平成22（2010）年作成 2.5万レベル電子国土基本図

#### ○空中写真で見る富山の移り変わり

- ・昭和20（1945）年 米軍撮影の空中写真（富山大空襲前）
- ・昭和21（1946）年 米軍撮影の空中写真（富山大空襲後）
- ・昭和50（1975）年 国土地理院撮影の空中写真
- ・平成19（2007）年 国土地理院撮影の空中写真

#### ○「劔岳 点の記」柴崎芳太郎の地図づくりに懸ける想い

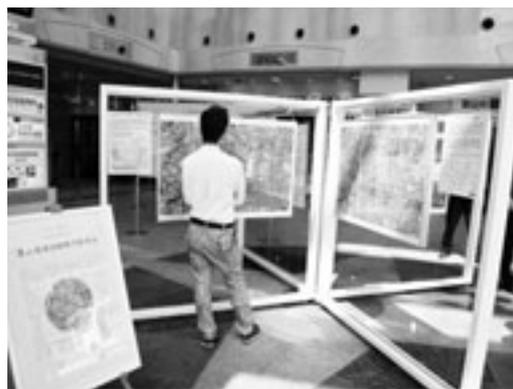
明治40（1907）年、柴崎芳太郎ら測量隊により立山地区の三等三角点測量が実施され、大正元（1912）年に5万分1地形図「立山」が作成されました。劔岳測量100年記念として、劔岳に関する測量をまとめた山岳集成図を展示しました。

#### ○さまざまな地図記号

2.5万分1地形図に使われている地図記号の由来について説明したパネルを展示しました。



空中写真に見入る来場者



100年前の地図に見入る来場者

### ② 寺家小学校「地図教室」

富山県測量設計業協会は「測量の日」関連行事として、6月3日に滑川市立寺家小学校の6年生58名を対象に「地図教室と測量体験」を開催しました。

「地図教室と測量体験」は2部構成で、前半は「地図教室（地図ができるまでとさまざまな地図記号）」というテーマで北陸地方測量部の船津専門職が講師として参加しました。身の回りにある身近な地図や珍しい地図、代表的な地図記号を紹介したほか、寺家小学校周辺の変化について地図や空中写真を使って説明しました。

後半は校庭において、三角定規を使って校舎の高さを測定したり、歩測による距離測定、トランシットやレベル等の測量機器で計測するなどの測量作業を体験してもらいました。

当日の天気は夏を思わせる暑い晴天の中、どの児童も元気に測量体験を楽しんでいました。



地図教室実施風景



地図教室参加の寺家小6年生



最新機器を使つての測量体験の様子



## ◇「とやま地図作品研究会」設立総会の開催

「地図展2007 in 富山」の一環としてはじまった児童生徒による「とやまみんなの地図作品展」が、平成22年で第4回目を迎えます。

この地図作品展の、今後の継続・発展をはかるため、須山盛彰元富山東高等学校長、大西宏治富山大学人文学部准教授、楠則夫富山県測量設計業協会長、鹿田正昭日本測量協会北陸支部長、吉池健国土地理院北陸地方測量部長が発起人となり、これを主催する新たな組織「とやま地図作品研究会」を立ち上げました。

設立にあたり、5月26日富山市大泉本町の測量会館で会員15名の参加により、設立総会が開催され、会長に大西宏治富山大学人文学部准教授を、幹事長に名取三喜男日本測量協会北陸支部事務局長を選任し、同会主催の「とやまみんなの地図作品展」の開催に向けて本格始動しました。

研究会では、国土地理院が事務局をしている「全国児童生徒地図作品展連絡協議会」に加盟し、毎年開催されている「全国児童生徒地図優秀作品展」に参加するほか、富山、北陸地方、そして全国の地理教育に関わりのある方々とのネットワークをつくり、関係者及び関係団体との交流を図り、基盤地図情報などの最近の地理空間情報の動向など地図をめぐる情報交換や意見交換も行い、来るべき地理空間情報高度活用社会に向け、未来につながる地道な活動として、地図作品展の開催に取り組んで行くこととしています。

「とやまみんなの地図作品展」は、児童生徒による地図作品の作成を通して、地図についての正



「とやま地図作品研究会」設立総会の様子

しい理論や地理的思考力を高め、自主的な研究活動を通じて社会的なものの見方や考え方を育むものであり、北陸地方の子供達にとっては、地図に関する学習の成果を発表する貴重な機会となっています。

「とやま地図作品研究会」では、今後もこの取り組みを地域に定着させ、発展させていくためには、地理教育に関心のある「富山人」の力を結集し、地域に根ざした教育イベントとして取り組んで行くこととしています。

研究会に参加される方は、個人会員は入会時1,000円を会費として納入していただくことになります。会員は随時受け付けますので「とやま地図作品研究会」事務局（日本測量協会北陸支部）へ申し出てください。

#### ◇国家試験「平成22年測量士・測量士補試験」実施される

平成22年5月23日(日)全国の14都市において、平成22年測量士・測量士補試験を実施しました。

北陸地方の受験者数は、富山試験場では測量士111名（前年比0.90）測量士補468名（前年比0.98）、新潟試験場では測量士114名（前年比0.97）測量士補323名（前年比0.92）でした。なお、全国では、測量士3,170名（前年比1.04）測量士補13,165名（前年比0.98）でした。

試験問題の公表については、国土地理院のホームページ（<http://www.gsi.go.jp/>）に8月23日まで公表しています。

合格発表は、平成22年7月23日(金)を予定しており、国土地理院本院、各地方測量部及び支所において合格者の氏名を公告するほか、全受験者あてに試験の結果（合否）を通知します。

また、国土地理院のホームページ上に合格者の受験番号、標準的な解答及び合格基準を掲載します。

## 新刊地図（北陸地方測量部管内）

### 2万5千分1地形図（桎判3色）

図名（読み）	地図番号	測量年・種別	刊行年月日
坂町（さかまち）	村上12-1	21年更新	H22. 5. 1
中条（なかじょう）	村上12-2	21年更新	H22. 5. 1
稲荷岡（いなりおか）	村上12-4	21年更新	H22. 5. 1
菅谷（すがたに）	新潟9-1	19年更新	H22. 6. 1
矢代田（やしろだ）	新潟14-4	19年更新	H22. 6. 1

### 数値地図25000（地図画像）

図名	刊行年月日
新潟	H22. 7. 1

### 数値地図50000（地図画像）

図名	刊行年月日
新潟	H22. 5. 1
福井・滋賀・京都	H22. 6. 1

### 数値データ25000（行政界・海岸線）

図名	刊行年月日
全国	H22. 6. 1

